

農村環境保全に関する学の連携による調査研究と技術開発  
Study and Technology Development by Cooperation of Education  
about Countryside Environmental Conservation

上月良吾  
(KOUZUKI Ryougo)

1. はじめに

(社)農村環境整備センター（以下、センター）は、農村地域における景観・親水を主とした生活空間の環境整備に関する調査研究、技術開発、普及啓発、技術者の育成等を行うことにより環境整備に関する科学技術の向上と環境整備の促進を図り、国民が求める農村環境の保全に資することを目的に、平成3年に設立された。

近年では、農村地域の環境を保全していくためには、農村地域の生活空間のみならず、農業生産基盤、里地や里山などを総合的に捉え、豊かな生態系、良好な景観、個性ある伝統文化など農業農村の有する環境を総合的に保全・整備していくことが必要との認識が高まり、農村環境の役割として、ゆとりや安らぎを求める国民のニーズに応えるとともに青少年の農業、自然等の体験や教育の場を提供することも重要となってきた。

農業農村の有する多面的機能の適切な発揮を基本理念の一つとした「食料・農業・農村基本法」の制定(H11)、環境との調和に配慮した事業展開を求める「土地改良法」の改正(H13)、自然環境の保全再生、多様な主体の参加、自然環境学習等を推進する「自然再生推進法」の制定(H14)、さらには、地域特性に応じた良好な景観の保全・形成を図るための「景観法」の制定(H15)などに、農村環境を巡る社会情勢の変化がよく表れており、このような社会的要請の変化に対応して、センターの活動もその範囲を広げ、内容を深化させてきた。

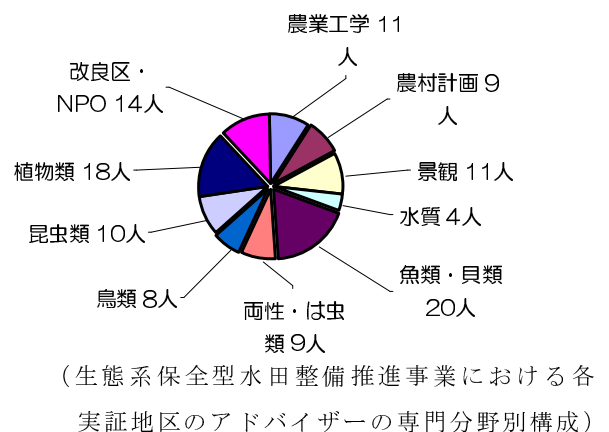
ここでは、センターの活動における農業、生物、生態、社会、建築、文化など様々な“学”との連携の状況を紹介し、公益法人と学の連携に関する議論の話題を提供する。

2. 農村環境整備センターにおける多様な学との連携への取組状況

農村環境の保全整備を効果的に推進していくためには、農業土木と生態学、農学等の多様な学の間分野との連携が不可欠である。以下に、具体的な連携事例を紹介する。

- 表土扱いによる植生保全方法と埋土種子(シードバンク)の役割〔生態学(植物)〕  
ほ場整備事業に際し、畦畔や法面において、整備前の土壌を整備後に利用する「表土扱い」を行い、植生の復元の有効性を評価、「表土扱い」による在来種保全の

図1 多様な専門家の参画



有効性を確認した。

- 水田に生息する水生生物と栽培管理技術〔生態学(水生昆虫、魚類)〕  
農法の違い(慣行、不耕起、無代かき)が水生生物の生活史に与える影響を把握し、水田の生物多様性を高めるための栽培技術を検討した。また、水田に小溝を設置することによる魚類の増殖環境の保全効果を把握した。
- ほ場整備がダルマガエルに与える影響とその緩和方策〔生態学(両生類)〕  
ほ場整備がダルマガエル(絶滅危惧Ⅱ類)の地域個体群に与える影響について明らかにするとともに、ダルマガエルの保全に向けた留意事項等を提案した。
- 農業者や住民が簡易にできる農業水路の魚類生息環境の評価手法〔生態学(魚類)〕  
住民参加手法の視点から、かつて農業水路に生息していた魚類を聞き取り、どのような要因でそれらが棲めなくなったかを踏査やワークショップにより明らかにした上で、水路の改修、更新時における環境配慮方策や地域による水路の維持管理等についての啓発手法を開発した。

センターでは、各種分野の専門家に対して、委員会への参画や個別案件への助言、研修会の講師を求めるといった様々な形態で連携を図っている。これらの専門家は、大学の研究者の他、独立行政法人の研究者、コンサル等民間企業の研究者、高校教員、NPOの活動家など広範に渡っている。また、業務の内容としては、技術基準や指針の検討以外に、個別具体の地域における実践的な活動を行う機会も多いことから、全国の各地域を拠点として様々な分野の研究を行っている専門家に参画を求めることも多い。

### 3. さらに豊かな農村環境の実現に向けて

多様な学との連携は、センター活動の質の向上に不可欠であるが、研究者にとっても様々なフィールドの情報を入手できるとともに研究成果の現場での実践とその評価が可能となり研究の発展につながるなど、相互に得るものは大きく、良好な農村環境の保全という社会的要請に応えていくためには非常に重要である。

農村環境という、本来、非常に複雑で多様な要素によって構成されている空間において、これまで個々の要素について深く進められてきた“学”を融合させることによって、より一層豊かな農村環境を実現する必要があると考える。